

外国語教育メディア学会 (LET) 第 101 回 (2023 年度秋季) 中部支部研究大会 プログラム



大会テーマ：「外国語教育とデジタル・トランスフォーメーション
～先進的な取り組みから～」

日時 2023 年 12 月 16 日 (土) 10:00-17:00
会場 三重大学教育学部 1 号館
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

研究大会実行委員長 豊住 誠 (皇學館大学)
同 副実行委員長 中川 右也 (三重大学)

主催 外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部
後援 三重県教育委員会・津市教育委員会

問い合わせ先：外国語教育メディア学会 (LET) 中部支部事務局
事務局長 工藤 泰三 (名古屋学院大学) taizo@ngu.ac.jp

参加申込締切は 12 月 14 日 (木) です

大会詳細はこちらから (<https://www.letchubu.org/>) →



時 程

9:30 受付開始

10:00 - 10:10 開会式 【第1室（大会議室）】

司会：中川 右也（三重大学）

主催者挨拶：西尾 由里

（中部支部支部長・名城大学）

実行委員長挨拶：豊住 誠（皇學館大学）

開催校挨拶：伊藤 信成 氏（三重大学教育学部長）

事務連絡：工藤 泰三

（中部支部事務局長・名古屋学院大学）

10:10 - 11:50 講演 【第1室（大会議室）】

司会・講師紹介：工藤 泰三（名古屋学院大学）

講師：小崎 誠二 氏（奈良県立教育研究所）

「いまとこれからの教育 DX とは ～国や教育委員会が考えていること～」

高度情報化社会が進展していく中、それに伴って学校に求められる教育内容も高度化し、これまでの知見や経験の蓄積だけで学校教育の質の保証をしていくことは難しくなってきました。インターネットの急速な普及やデジタル技術を教育に生かして DX を推進するということはどういうことでしょうか。社会情勢と学校教育実践を結びつけながら、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。



【小崎誠二氏プロフィール】奈良県教育委員会・奈良県立教育研究所教育情報化推進部主幹。奈良県立高等学校国語科・情報科教諭、奈良県立教育研究所研究開発部主幹、奈良教育大学学長補佐等を歴任。現在、奈良教育大学客員准教授、文部科学省学校 DX 戦略アドバイザー、デジタル庁デジタル推進委員を兼任。

11:50 – 13:00 昼食

できるだけご持参ください。学内には購入できるところはありません。
昼食はランチョンセミナーにご参加しながらお召し上がりいただけます。

.....

12:00 – 12:50 賛助会員プレゼンテーション（ランチョンセミナー）【第1室（大会議室）】
司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）

12:00-12:10 株式会社 アルクエデュケーション

(<https://www.alc-education.co.jp/academic/>)

12:10-12:20 株式会社 EnglishCentral JAPAN (<https://www.englishcentral.com/>)

12:20-12:30 株式会社教育測定研究所 (<https://www.jiem.co.jp/>)

12:30-12:40 株式会社 エル・インターフェース (<https://www.supereigo.com>)

12:40-12:50 チエル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/>)

.....

13:00 – 14:40 研究発表・実践報告

(発表概要は pp. 5-6 をご参照ください)

【第1室（大会議室）】 司会：中山 麻美（岐阜医療科学大学）	【第2室（遠隔授業室）】 司会：天野 修一（広島大学）
13:00 – 13:30 【研究発表】 Error Types and Choices of Article in Chinese EFL Learners' Speech 喬 婉姝（名古屋大学大学院） 広瀬 八重子（名古屋大学大学院）	13:00 – 13:30 【実践報告】 特別支援学校における外国語活動 橋口 浩明（小野市立小野特別支援学校）
13:35 – 14:05 【研究発表】 工学を専門とする大学生の英語学習に対する動機づけの調査 寺井 雅人（愛知工科大学） 三上 綾介（名古屋大学大学院）	13:35 – 14:05 【実践報告】 生成系 AI の支援による学習ログデータ分析の試み 阪上 辰也（広島修道大学）
	14:10 – 14:40 【実践報告】 小学校外国語科の音読指導における主体的に学習に取り組む態度の育成—タブレット端末を活用して 高橋 美由紀（愛知教育大学）

.....

.....

14:50 – 16:50 シンポジウム 【第1室（大会議室）】

「世界に繋がる革新的な ICT 活用の実践例」

司会：中川 右也（三重大学）

シンポジスト：

中川 右也（三重大学）

吉水慶太（三重大学教育学部附属中学校）

若林茂則（中央大学）

飯尾淳（中央大学）

櫻井淳二（積才房合同会社）

松本裕子（三重大学）

<概要>

生徒は一生懸命英語を学び、授業の中で使おうとしているが、日本では、その学びを実世界の状況に適用する機会がまだまだ少ない（例：授業外で英語を使用する機会がない、海外の人との直接的な交流がない等）。また、「令和5年度学力・学習状況調査（英語）」の結果からも分かるように、「話すこと（即興）」に課題を抱えている。海外の生徒と実際にやり取りを行うことで、生徒の学びの「リアルさ」を充実させ、より深く英語という言葉や言語を学ぶことの意味や可能性について探究できると考え、参加希望生徒を募り、自校初となる短期間に3回のビデオ通話による協働学習を核にしてインドネシアの学校と交流をすることにした。この企画は、ことばのまなび工房が提供する“日本語を話さない人たちとのコミュニケーション&コラボレーション プロジェクト”、通称<にこP>の活動の一環として行われた。

シンポジウムでは、GIGA スクール構想が進む中、理想的なタブレット端末を含む ICT の活用法、海外の学校との交流方法、その効果を示した上で、実際に英語をツールとして使用する機会を創造し、インドネシアの学校との協働学習を計画・実践し、英語学習に対するモチベーションの向上、および、英語運用能力の向上を目的として、準備、実践、評価と分析までを行う一連のプロジェクトを具体的に紹介する。

.....

16:50 - 閉会式 【第1室（大会議室）】

司会：工藤 泰三（名古屋学院大学）

主催者挨拶：天野 修一

（中部支部副支部長・広島大学）

事務連絡等：工藤 泰三

（中部支部事務局長・名古屋学院大学）

.....

17:30 – 懇親会 【レストラン「ぱせお」（キャンパス内 翠陵会館2階）】

発表概要

第1室（大会議室）

(1) Error Types and Choices of Article in Chinese EFL Learners' Speech 【研究発表】

喬 婉姝（名古屋大学大学院）・広瀬 八重子（名古屋大学大学院）

This study examines article errors in Chinese EFL learners and analyzes their parameter choices in spontaneous speaking tasks, contrasting with previous research focused on written outputs. Examining 35 vocational college students' oral exam performances, involving three oral questions and a picture description, it coded 557 noun phrases for specificity and definiteness. The results show frequent errors in article omission and overuse of 'the', with the topic influencing error type. Participants showed clear parameter settings in [+definite, ±specific] and [-definite, +specific] contexts, but great variability in the [-definite, -specific] context. Additionally, learners' scores did not significantly predict their article selection because these scores encompass factors like lexical selection, pronunciation, and critical thinking. The study reveals that without L1 transfer, L2 learners tend to omit articles and fluctuate between specificity and definiteness. In teaching, providing explicit knowledge about how to set article parameters could possibly help learners use articles more appropriately.

(2) 工学を専門とする大学生の英語学習に対する動機づけの調査 【研究発表】

寺井 雅人（愛知工科大学）・三上 綾介（名古屋大学大学院）

工学を専門とする単科大学の学生における英語学習への動機づけを明らかにするため、英語科目を受講している125名を対象に質問紙調査を行った。英語学習の動機づけ（外発的、内発的、同一化、無動機）を測定するため、先行研究で提案された32の質問項目を使用した。参加者はそれぞれの質問に対して5段階で回答した（1: ぜんぜんあてはまらない、5: とてもあてはまる）。探索的因子分析の結果、因子構造が概ね先行研究と一致した。先行研究では、様々な専攻の学生を対象として質問紙が開発されたが、本研究の結果から、専攻の限られた学生のデータに対しても、質問紙の妥当性が確認された。得られた因子ごとに、評定値の母平均の区間推定を行ったところ、内発的動機づけが最も低く（95% CI [2.81–2.97]）、同一化が最も高かった（95% CI [3.58–3.72]）。発表では、心理ネットワーク分析の結果も踏まえ議論する。

第2室（遠隔学習室）

(1) 特別支援学校における外国語活動 【実践報告】

橋口 浩明（小野市立小野特別支援学校）

本研究は、知的障害を抱える児童の外国語科における「話すこと（やり取り）」の力を育むことを追求したものである。特別支援学校の小学部に在籍する知的障害を抱える児童の中には、適応行動の困難さや、日常のコミュニケーションに課題がある。文献研究から、知的障害を抱える児童生徒

には、言葉の意味やコミュニケーションの意図が分かりやすいように、ジェスチャーなどを取り入れて動作化・可視化したり、成功体験を増やし、学習活動へ意欲が育つように、主体的な活動を促したりする指導支援を取入れることが重要であると分かった。そこで、本実践を通して、児童の英語に対する意欲は高まり、目的とする児童の「話すこと（やり取り）」の力、コミュニケーションの素地・資質の面でも一定の成果を確認することができた。このことから、外国語科（英語）での学習活動における言語活動は、知的障害を抱える児童の英語における「話すこと（やり取り）」の力を育むことに有効であることが分かった。

(2) 生成系 AI の支援による学習ログデータ分析の試み【実践報告】

阪上 辰也（広島修道大学）

本発表では、オンライン学習教材の利用時に記録される学習ログデータの分析に際し、生成系 AI の支援がどれほど有効であったかについての実践報告を行う。具体的には、文法とリスニングの演習問題によって構成されるオンライン教材の学習ログデータを対象とした分析に際し、生成系 AI による支援を受けた。その結果、基本統計量の算出といった初歩的な手順の提案のみならず、異常検知手法の利用や機械学習モデルの構築といった高度な分析手法についても提案がなされ、分析に必要なコードも生成された。一方で、生成されたコードの説明を解釈することが困難なケースもあり、他の生成系 AI の支援を受けるなどして対応した。当日の発表では、支援過程について報告するとともに、分析時の留意点として、データの下処理（例：欠損値の有無）についての指摘や提案が抜ける場合があることを指摘する。また、生成系 AI による提案内容の精査をいかに行うかという今後の課題についても説明する。

(3) 小学校外国語科の音読指導における主体的に学習に取り組む態度の育成—タブレット端末を活用して【実践報告】

高橋 美由紀（愛知教育大学）

本発表では、タブレット端末を使用した音読指導の実践が児童のスピーチやプレゼンテーション等の言語活動の準備として効果的であったことを 5 年生の事例から述べる。具体的には、デジタル教科書（・教材）を活用して以下の活動を行った。①授業で指導者用デジタル教科書を視聴し、語彙や表現等を一齐に練習した、②発表者らが作成した音読シートを使って、国語で行う「音読」練習を外国語でも実施した、③家庭学習として、学習者用デジタル教科書の音声読上げ機能を用いて、発音練習やシャドーイングによる練習を行った、④練習した発話をロイロノートに録音して提出した。結果として、児童の語彙力・表現力等の知識・技能の向上に資するとともに、彼らのプレゼンテーション力に成果がみられ、かつ情意面にも効果的であったこと、さらに、個々人のペースで学習を進めることができたことから、主体的に学習に取り組む態度の育成につながったことが認識できた。

.....

～ ご案内 ～

賛助会員出展 会場に出展していただきます。ぜひお立ち寄りください。

- 株式会社 アルクエデュケーション (<https://www.alc-education.co.jp/academic/>)
- 株式会社 EnglishCentral JAPAN (<https://www.englishcentral.com/>)
- 株式会社 教育測定研究所 (<https://www.jiem.co.jp/>)
- 株式会社 エル・インターフェース (<https://www.supereigo.com>)
- 株式会社 EdulinX (<https://www.reallyenglish.co.jp/>)
- チェル株式会社 (<https://www.chieru.co.jp/>)
- 株式会社 三修社 (<https://www.sanshusha.co.jp/>)

昼食 各自でお取りください。大学構内に昼食を購入するところはありませんので、各自ご持参いただくか、近隣の店舗をご利用ください。

懇親会

- キャンパス内にあるレストラン「ばせお」(翠陵会館2階)で行います。ぜひご参加ください。
- 会費は会員・非会員ともお1人5,000円、学生は3,000円です。当日お支払いいただきますので、できるだけお釣りのないようにご用意ください。
- 大会参加お申し込みの際に、懇親会の参加有無についてもご入力ください。

大会参加申込用
QRコード



大会参加のご案内

- ご参加には事前申し込みが必要です。12月14日までにGoogleフォームよりお申し込みください。URLは<https://forms.gle/ZnYffiaF1Rh41aAu9>です(右上のQRコードもご利用いただけます)。
- 非会員の方は資料代として1,000円を当日受付の際にお支払いください。会員および大学学部生は無料です。
- 発表者の方も参加申し込みをお願いいたします。
- お子様連れでご参加の方のために、授乳室・家族休憩室を設けます。ご利用の方は受付にてお申し出ください。
- 新型コロナウイルス・インフルエンザ感染拡大予防にご留意ください。発熱・咳などの症状がある方は来場をお控えください。
- 発表者の方は、発表開始5分前までにご自身の発表会場にお越しください。また、PCはご自身のものをお持ちください。

新規ご入会案内

- 会員になられますと、LET 全国研究大会（年 1 回）や支部研究大会（年 2 回）での研究発表・実践報告、紀要への投稿などをしていただくことができます。
- LET 本部サイト（下記）にて入会登録をしていただくと仮会員になります。仮会員になられましたら、後日、年会費をご請求申し上げます。なお、年会費は次の通りです。

個人会員：年額 6,000 円 / 学生会員：年額 3,000 円 / 団体会員：年額 6,000 円

- 年会費をお支払いいただきますと、正会員になります（登録後 3 ヶ月以内にお手続きをお願いします）。

会員登録、会員情報の更新は

LET 本部サイト（<https://www.j-let.org/>）からお願いします →



.....

<メモにお使いください>

～ 会場へのアクセス ～

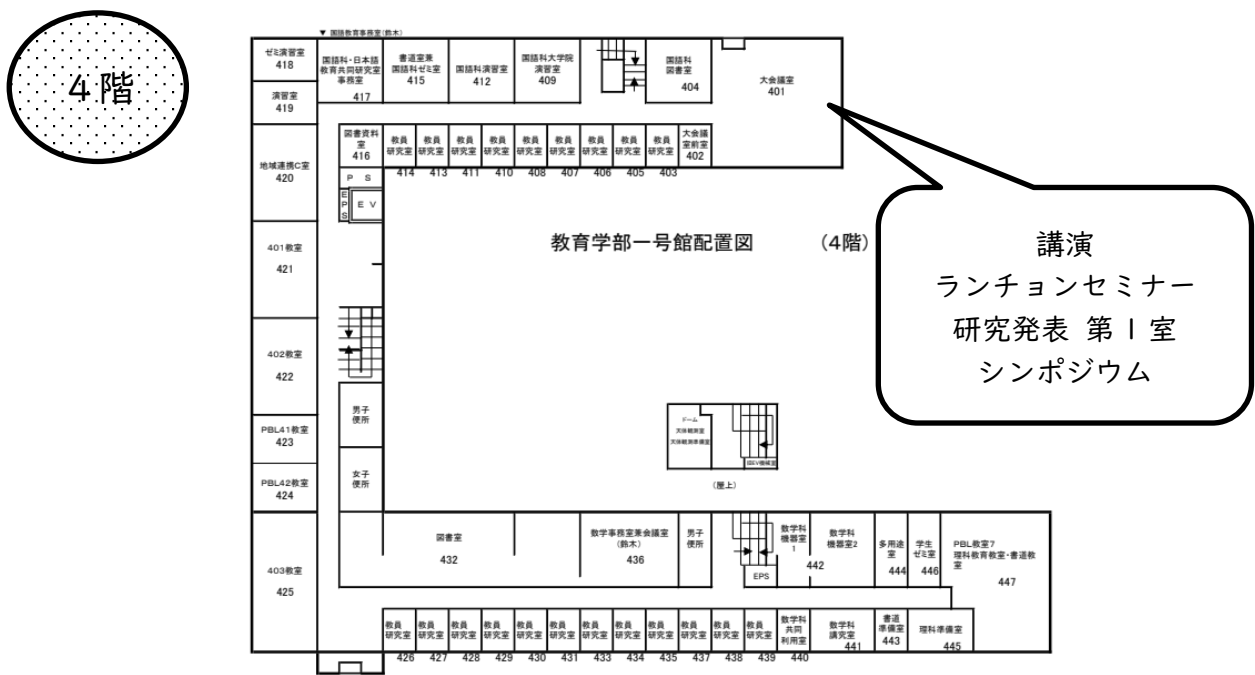
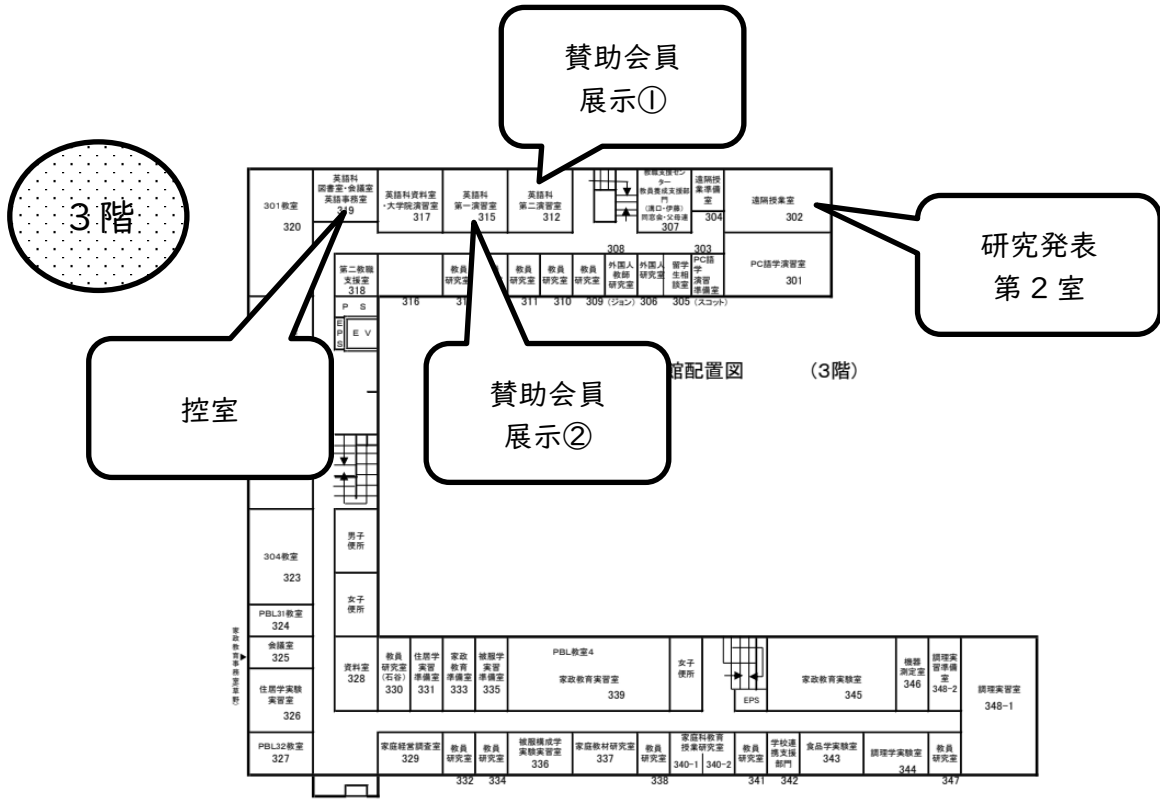
公共交通機関をご利用ください

- 近鉄名古屋線「江戸橋」駅から
 - 徒歩約15分
- JR線・近鉄線・伊勢鉄道線「津」駅東口から
 - 4番バスのりばより三重交通バス「白塚駅」(06系統)・「三重病院」(51系統)・「棕本(むくもと)」(52系統)・「豊が丘」(52系統)・「サイエンスシティ」(52系統)・「東豊野」(53系統)・「高田高校前」(56系統)行きで「三重大学前」下車
 - タクシーで約10分
- 津エアポートライン「津なぎさまち」から
 - 三重交通バスで「津駅前」まで約15分
 - タクシーで三重大学まで約15分



～ 会場内案内図 ～

会場は教育学部1号館 3・4階です



<メモにお使いください>

